（様式１）

県立茎崎高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和６年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

豊かな人間性を備えた社会人の育成
・自分を理解し、大切にする態度の育成
・個性や多様性を認め合い、他者を尊重する態度の育成
・基本的生活習慣の確立
・基礎体力の向上
・自己管理能力の育成

各学校で定める目標と育成する資質・能力

社会人として求められる基礎学力及び生活習慣を身に付けさせるとともに、自己の将来を見据えた職業観、勤労観に基づく進路実現を支援し、豊かな人間性を備えた社会人の育成に努める。
(1)意欲的に「学びに向かう力」
　自分や他者を理解し、大切にする態度を育成するとともに課題に対して主体的・協働的に取り組む姿勢を育む。
(2)生きるために必要な「知識・技能」
　基礎学力をはじめ、社会で生きるために必要な課題解決のための手法や思考ツールの使い方を学ぶ
(3)場に応じた適切な「思考力・判断力・表現力」
　自分を理解し高められる思考を行い、個性や多様性を認め合い、自分の考えを他者に的確に伝える力を育成する

総合的な探究の時間の学習評価

学習活動ごとにリフレクションシートなどを用いて振り返りを行う。
発表活動を生徒同士が相互評価する。
レポートなどを用いて主体的な活動の実践を年度末に総合的に評価する。
(1)主体的に学習に取り組む態度
　友人や担任などと協力しながら、あきらめずに最後まで学習に取り組むことができる。
(2)社会人としての教養と規範意識
　課題の発見、課題解決のための手法を担任等のサポートを得ながら理解することができる。
(3)課題解決能力およびコミュニケーションスキル
　探究の過程に基づいて課題の設定、情報の収集、整理分析、まとめができる。

生徒の実態

・自己肯定感が低い
・人間関係作りが苦手
・学び直しに意欲的な生徒も多い

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

・年次・分掌の枠を超えた「チーム茎崎」として外部連携および支援体制の整備強化
・多様な生徒のニーズに応えるための教育システムの工夫

目指す生徒の姿

・自己肯定感をもち、自信を持って行動できる
・良好な人間関係を築くことができる
・将来について自分で決定し、それに向かって努力することができる

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 年次　社会における自己のあり方について考えを深めるとともに、他者とのかかわりについて学ぼう
(1)情報の収集方法や整理・分析方法の獲得と実践
(2)異なる情報源の情報を違和感なく統合する力、要約力、表現力、批判的思考力
(3)自分の考えとは違う意見を聞く態度
2 年次　自己理解を深めて、将来の自分像をつくろう
(1)集めた情報から適切なものを選別する方法
(2)仮説を立て、自分の考えを相手に的確に伝える力
(3)他人の心情に寄り添った意見交換をする態度
3 年次　自己実現の方法について考えよう
(1)社会のマナーを自分のものとして、実践できる
(2)進路に向けて自己理解をしながら主体的に課題に取り組む能力
(3)自ら社会に貢献しようとする態度

学習活動、指導方法等

・学校設定科目「ライフスキルを高める心理学」と連携し、自己理解や他者理解を進める方法を学ぶ。
・情報収集のために新聞や図書室、インターネットを利活用する。
・様々な思考ツールやワークシートを用いて計画に沿って指導する。
・各教科と連携して、身につけた知識を教科横断的に活用できる学びを通して、社会生活を送るための能力を育成する。
・情報科と連携して課題解決の方法、ブレーンストーミングの方法、グループの意見を分析する方法を学ぶ。
・整理・分析した内容をレポートにまとめ発表する。
・個人やグループでポスターを作成し、発表会を行う。
・学校行事を効果的に配置し、互いに連携できる方法を追究する。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

・各年次が主体となり年次の担当者を中心に実施する。また、教務部、進路指導部、生徒指導部、各年次担当者が連携して計画する。
・各教科の協力を得て、連携しながら年次を中心に実施する。
・ガイダンスや見学会を通して行政機関や企業、上級学校と連携する。
・特別活動部と協力し、文化祭などの行事と連携して実施する。
・大学等外部機関と連携し、課題設定や情報処理などを探究活動として実施する。